

## 6-2 東北支部

### 1. 支部の現状

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| (1) 平成 27 年度末会員数  | 100 社 |
| (2) 平成 28 年度入会会員数 | 4 社   |
| (3) 平成 28 年度退会会員数 | 2 社   |
| (4) 平成 28 年度末会員数  | 102 社 |

### 2. 平成 28 年度の活動実績

#### 2-1 地域への貢献活動

- (1) 社会貢献活動  
行政機関と共催の高校生対象の橋梁模  
型作品発表会の開催
- (2) 一般市民を対象とした講演会  
社会資本整備の必要性を広く社会に訴  
える講演会「復旧からの復興・創生へ」  
～東北の魅力を生かして～を 11 月 11 日  
に、東北地方整備局、河北新報社等の後  
援により開催（参加者 200 名）。
- (3) 新技術展示会「EE 東北'16」に実行委  
員として参画  
出展者数 304 社、出展技術数 832 技術、  
来場者数過去最多約 14, 200 人

#### 2-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 講習会・講演会・研修会  
・道路・構造講習会  
・河川・環境講習会  
・地盤・防災講習会  
・本部委員会の講習会（マネジメント、  
エラー防止、GIS、情報セキュリテー  
など）  
・独占禁止法の遵守に関する講習会
- (2) 現場見学会  
・道路、構造現場見学会  
・河川、環境現場見学会
- (3) 官公庁職員研修への研修講師の派遣  
国、県市職員研修に講師を派遣＝63 講  
座 73 名派遣
- (4) 意見交換会  
・東北地方整備局 2回  
・東北6県および仙台市 各1回

- (5) 会誌「JCCA 東北」発行  
・2 回発行 1 回の発行部数 1, 000 部

### 3. 平成 29 年度の活動予定

#### 3-1 地域への貢献活動

- (1) 行政機関と共催の高校生対象の橋梁模  
型作品発表会の開催
- (2) 社会資本整備の必要性を広く社会に訴  
える講演会の開催
- (3) 新技術展示会「EE 東北'17」に実行委  
員として参画

#### 3-2 会員企業等への貢献活動

- (1) 会員各社の技術者のための技術習得を  
目的とした道路・河川・環境の現場見  
学会、講習会、勉強会を実施する
- (2) 国、県市職員研修に講師を派遣する
- (3) 東北地方整備局及び東北 6 県、仙台市  
と意見交換会を実施する
- (4) 会員企業の相互の親睦を深め、健康増  
進、リフレッシュを図るための交流会、  
スポーツ行事を実施する
- (5) 会誌「JCCA 東北」を年 2 回発行する

### 4. その他

東日本大震災から丸 6 年、復興・創生期  
間に移行し 1 年が経ち至る所で工事が行わ  
れ復興が順調に進んでいるように思われる  
が、未だ被災 3 県で 12 万 7 千人が避難生活  
を余儀無くされている。福島県では帰還困  
難区域外については、除染が進み避難指示  
が全ての区域で解除されたことから早く安  
定した暮らしが出来ることを節に願います。  
当会員の被災地への最大の支援は業務を通  
じ一日も早く復興を行い、震災前からの人  
口減少、高齢化等多くの課題を払拭し、地  
域を再生させることである。今後の業務は  
福島沿岸部が中心になると思われるが、引  
き続き復興・再生支援を最優先課題として  
事業に取り組む。